

教育研究評議会議事録

平成27年11月11日（水）
15時28分から17時48分まで
事務局第1会議室

議事

I 教育研究評議会議事録（10月14日開催）の確認

II 協議事項

- 1 「国立大学法人山形大学」及び「山形大学」に係る業務執行組織について
- 2 山形大学学位授与方針等の改定（案）について
- 3 山形大学学士課程基盤教育機構規程等の制定について
- 4 山形大学における地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に関する規程（案）の制定について

III 報告事項

- 1 国立大学法人山形大学の平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について
- 2 国立大学法人山形大学安全保障輸出管理規程の制定について
- 3 女性教員比率向上へのインセンティブの付与について
- 4 平成28年度山形大学推薦入試・社会人入試・AO入試等の志願状況について
- 5 平成28年度大学院入試の実施状況について
- 6 平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について
- 7 就職内定状況（10月末現在）について
- 8 平成26年度監事監査結果報告に対する措置状況等について
- 9 国立大学協会総会（11月2日開催）等について
- 10 大学改革戦略本部会議について

IV その他

- 1 県内就職について
- 2 山形大学学位授与方針等の改定に係る統括教育ディレクター会議での検討について
- 3 平成29年度の教育研究組織の改組に向けた教員人事について
- 4 次回開催（平成27年12月9日（水））

出席者

議長	小山清人	(学 長)				
評議員	深尾 彰	安田弘法	大場好弘	阿部宏慈	萩原 均	(理 事)
	北川忠明	元木幸一				
	須賀一好	佐々木正彦				
	脇 克志					
	山下英俊	上野義之				
	飯塚 博	中島健介				
	夏賀元康	村山秀樹				
	久保田功					
	渡邊洋一					
監 事	齋藤亮一	山下 貴				

欠席者

評議員 玉手英利

列席者

総務部長 企画部長 財務部長 教育・学生支援部長
エンrollment・マネジメント部長 小白川キャンパス事務部長 医学部事務部長
工学部事務部長 農学部事務長 総務課長

I 教育研究評議会議事録（10月14日開催）の確認

議長から、前回10月14日(水)開催の本会議の議事録（案）が確認され、議事録が確定した。

II 協議事項

1 「国立大学法人山形大学」及び「山形大学」に係る業務執行組織について

阿部評議員から、本件について、前回の本会での各評議員からの意見及びその後各部局からの質問等に関して、資料1-1のとおり回答を取りまとめた旨、また、それらの意見等を踏まえ、資料1-2及び資料1-3のとおり再度整理を行った旨説明があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・ キャンパス長は経営面で当該キャンパスの責任者となるが、キャンパス長と学部長の役職の兼務を可能とするという点について、キャンパス長に学部長と異なる者を想定しているのか。（元木評議員）
- ・ 研究科長と学部長が異なる者である場合等に、どちらをキャンパス長とするかということである。（阿部評議員）
- ・ ただし、基本的には、キャンパス長は学部長を想定している。（議長）
- ・ 教員組織の一元化として学術研究院を設置したが、今回の資料との位置関係はどのようなになるのか。（山下評議員）

- ・教員は学術研究院に所属しており、学部・研究科のどの教育カリキュラムを担当するのかということになる。教育カリキュラムを進める上で、必要な教員人事の計画を学部で検討いただき、役員会で教員選考及び配置等を決定することとしている。(阿部評議員)
- ・教員の業績評価や個人評価の原案作成は学部長等が行うこととしており、その点は現行とあまり変わらない。(議長)

上記の質疑応答後、議長から、本件について提案があり、今後、今回資料に示した内容を基本として本件に係る規程等の整備を進めていくことが了承された。

2 山形大学学位授与方針等の改定(案)について

安田評議員から、去る9月9日(水)開催の本会で提案した本件について、各部局からの意見等を踏まえ検討を行い、資料2のとおり修正した旨、説明があり、次いで、大場評議員から、アドミッション・ポリシーについては、山形大学入試対策検討部会において検討を行い、各部局からの意見を反映したものである旨補足説明があった。

なお、安田評議員から、本件について了承が得られれば、各学部の目的、教育目標及びディプロマ及びカリキュラムの各ポリシーについて、資料2を参考に検討を進めていただく予定である旨説明があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・「知・徳・体の調和のとれた人材」についてという文言を、前文に記載しているが、具体的に検討した経緯についてお伺いしたい。(夏賀評議員)
- ・山形大学の3つの使命と基本理念に基づき、重要なキーワードとして整理を行ったものである。(安田評議員)
- ・今後の作業スケジュールとしては、各学部で検討を行い、それを3月までに確定させることになるのか。(山下評議員)
- ・今年度3月9日(水)の本会にて、最終的な審議決定を行いたい。(大場評議員)
- ・その場合、学部では1月頃には確定させることになるのか。(山下評議員)
- ・アドミッション・ポリシーについては、各学部のものは1月に確定し、2月の本会に一度諮り、最終的には3月に決定するスケジュールを考えている。
(大場評議員)
- ・全学のものを基本とし、資料の参考例を基に各学部で検討することで良いのか。
(山下評議員)
- ・その方向で進めていただきたい。(安田評議員)
- ・学部の状況やカリキュラムを考慮いただき、場合によっては変更することは可能か。(山下評議員)
- ・変更可能である。また、本日示した全学のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーについては、本会終了後、各学部へ意見照会を行い、12月の本会で再度審議いただく予定である。その後は、アドミッション・ポリシーと同様に1月に各学部のものを確定し、2月の本会で審議させていただきたい。
(安田評議員)

- ・平成29年度からの学部改組計画を検討中であるが、本件は現体制での検討を行うのか、改組計画が決まり次第、検討を行うのか伺いたい。(北川評議員)
- ・本件は平成29年度実施となるので、改組後のものでの検討となる。(議長)
- ・学科単位での検討はその後となるのか。(中島評議員)
- ・学科単位での作業は、学部を基に作成するため、その後となるが、事前に検討を進めて問題ない。可能であれば学科のものも同時期に提出いただきたい。
(安田評議員)

上記の質疑応答後、議長から、本件について提案があり、各部局に持ち帰り検討することとなった。なお、本件に関する意見等があれば、次回以降の本会で再度審議することを確認した。

3 山形大学学士課程基盤教育機構規程等の制定について

安田評議員から、本件については、本学の学士課程教育改革を行うにあたり、学士課程教育プログラムを学部横断的に統括、改革及び立案するための学士課程基盤教育機構の設置、及び本学学生の入学前から卒業後までの指標を一元管理・分析し、改善提案を行うための次世代形成・評価開発機構の設置に係る規程の制定である旨、資料3に基づき説明があった。

次いで、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

4 山形大学における地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に関する規程（案）の制定について

大場評議員から、本件については、前回の本会で報告した文部科学省における地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）の採択に伴う必要な組織及びその他必要事項を定めるものである旨、資料14に基づき説明があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・地域創生という点で、教育プログラムの受講者としてだけではなく、学生を主体的に組織の中に取り入れるような仕組みがあると良いのではないか。
(久保田評議員)
- ・実際に作業を行う際の部会には、学生が参画する形となっている。(大場評議員)
- ・別途採択されているCOCプログラムと期間が重なっており、事業を進めるうえでの交通整理をしていただきたい。(佐々木評議員)
- ・混乱の無いよう進めていきたい。(大場評議員)

上記の質疑応答後、議長から、本件について提案があり、審議の結果、原案どおり了承された。

Ⅲ 報告事項

- 1 国立大学法人山形大学の平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について
深尾評議員から、国立大学法人評価委員会における平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料4に基づき報告の後、国立大学法人の評価結果の分布や本学の評価結果推移等に関して、参考資料4-1～4-7に基づき説明があった。
- 2 国立大学法人山形大学安全保障輸出管理規程の制定について
深尾評議員から、本件については、国際的な平和及び安全を維持するための本学における技術の提供及び貨物の輸出に関する適切な輸出管理体制の整備等を図るため、役員会において資料5のとおり必要な事項を定め決定した旨、報告があった。
- 3 女性教員比率向上へのインセンティブの付与について
阿部評議員から、本件については、第3期中期目標・中期計画に掲げた女性教員比率を達成するため、同期間中における各年度末時点の女性教員の増員基準を達成した部局に対して、資料10のとおりインセンティブを付与することを役員会において決定した旨報告があった。
- 4 平成28年度山形大学推薦入試・社会人入試・AO入試等の志願状況について
大場評議員から、去る11月5日（木）に願書受付を締め切った各入試区分毎の確定した志願状況について、資料11に基づき報告があった。
- 5 平成28年度大学院入試の実施状況について
大場評議員から、11月1日時点における大学院の入試実施状況について、資料13に基づき報告の後、各研究科の定員充足について依頼があった。
- 6 平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について
萩原評議員から、本件について、文部科学省からの通知に基づき、本学の状況及び今後の取扱いを資料12のとおり整理した旨報告があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。
 - ・工学部は大規模学部にあたるので、影響は大きく、既に平成28年度から抑制する必要があるが、今年度の対応としては厳しい部分がある。超過した場合は、学部の対応となるのか。（中島評議員）
 - ・定員抑制に努力していただき、超過した場合は本部に相談いただきたい。（議長）
- 7 就職内定状況（10月末現在）について
安田評議員から、本件について、今年度末卒業・修了予定者の10月31日時点における就職状況について、資料6のとおり報告があった。
- 8 平成26年度監事監査結果報告に対する措置状況等について
議長から、去る6月17日（水）開催の本会で報告のあった平成26年度監事監査結果に関して、10月23日（金）付けで各担当理事の対応・進捗状況等を取りまとめ、資料7のとおり監事へ回答した旨報告があった。

9 国立大学協会総会（11月2日開催）等について

議長から、本件について、資料8にある議事次第に基づき会議が行われ、特に財政制度等審議会における財務省提案に関する国立大学協会の声明に関しては、広く理解を求める活動を行っていただきたい旨、協力依頼があった旨、報告があった。

10 大学改革戦略本部会議について

議長から、本件について、前回の本会以降、役員会及び大学改革戦略本部会議等において、地域教育文化学部に係る改組に関しては、資料9に示す方向で検討を行っている旨、報告があった。

次いで、本件に関して、概ね以下のような質疑応答があった。

- ・大学改革戦略本部会議の会議メモによると、この改組案に関して文部科学省のおおまかな理解が得られたとあるが、その結果だけではなく、やりとりの経緯を教えていただきたい。これまでの文部科学省との事前相談の経緯からは、今回の資料で認められたということが理解できない。（須賀評議員）
- ・地域教育文化学部が一般学部として何ができるのか、山形大学をどのように機能強化するのか検討したものが本資料である。一般学部の中で教員養成の部分を児童教育コースで行い、その部分を含めた機能強化ということは文部科学省としては問題はないとのことである。（萩原評議員）
- ・工夫という部分でチーム学校やコミュニティスクールという部分を取り入れたことは、これからの教員養成には必要であり、現行でも行っている。ただ、今回は一般学部としての新たな姿が求められているため、今回の案についてどのように判断したのかを伺いたい。（須賀評議員）
- ・文部科学省と一般学部として調整した結果が本案となっている。内容は資料のとおりである。（議長）
- ・これまでの文部科学省との事前相談では、一般学部として発展した形を見せてほしいとの要望があったかと思う。教員養成以外のコースについて、もっと中身が見えるものにしていただきたい。具体化する場合には、志願する高校生にもっと分かりやすい形にしないといけない。（佐々木評議員）
- ・ジェネラリストを養成するものであり、この案ももう少しきちんと詰める必要がある。現時点ではこの2コースで検討を進め、3月の課程認定の手続きには11月がタイムリミットだと考えている。是非、本案を具体化する方向で検討いただきたい。（議長）

IV その他

1 県内就職について

議長から、現在行っている学長の県内企業訪問において企業側から要望のあった点等について報告があった。

2 山形大学学位授与方針等の改定に係る統括教育ディレクター会議について

上野評議員から、学位授与方針等の改定に係る各学部への業務依頼等の進め方について、統括教育ディレクター会議及び担当事務で確認の上、対応願いたい旨依頼があった。

3 平成29年度の教育研究組織の改組に向けた教員人事について

北川評議員から、本件に係る採用人事について、優先順位の高い部分については進めていただきたい旨、依頼があり、次いで、渡邊評議員から、基盤教育のカリキュラムを担当する教員人事についても同様の依頼があった。

次いで、議長より、教員の採用人事については、退職者の後任人事ということではなく、改組後のカリキュラムを含めて検討し、必要に応じ役員会に採用計画書を提出いただきたい旨、説明があった。

4 次回開催（平成27年12月9日（水））

次回は、平成27年12月9日（水）に開催することとなった。

配付資料

前回（平成27年9月9日（水）開催）議事録

資料1-1 「国立大学法人山形大学」及び「山形大学」に係る業務執行組織について（質問・意見に対する回答）

資料1-2 「国立大学法人山形大学」及び「山形大学」に係る業務執行組織について（前回資料からの変更点）

資料1-3 組織図（法人組織及び大学組織）及び業務執行組織

資料2 山形大学学位授与方針等の改定（案）について

資料3 山形大学学士課程基盤教育機構規程等の制定について

資料14 山形大学における地（知）の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)に関する規程（案）の制定について

資料4 平成26年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）

資料4-1 大学法人の評価結果の分布や本学の評価結果推移一覧表

資料4-2 国立大学法人等の平成26年度評価結果について

資料4-3 機能強化に向けた取組状況一覧

資料4-4 国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況【平成26年度】

資料4-5 新たに認定された戦略的・意欲的な計画（30法人）

資料4-6 平成26年度評価に係る評価方法，審議経過等について

資料4-7 平成26年度に係る業務の実績に関する評価結果等について

資料5 国立大学法人山形大学安全保障輸出管理規程の制定について

資料10 女性教員比率向上へのインセンティブの付与について（案）

資料11 平成28年度山形大学推薦入試・社会人入試・AO入試等の志願状況について

資料13 平成28年度大学院入試の実施状況について

資料12 平成28年度以降の国立大学の学部における定員超過の抑制について

資料6 平成27年度卒業（予定）者及び修了（予定）者の就職（内定）状況調

資料7 平成26年度監事監査結果報告に対する措置状況等について

資料8 国立大学協会総会（11月2日開催）等について

資料9 大学改革戦略本部会議について